

2025年11月21日

各 位

会 社 名 セレンディップ・ホールディングス株式会社

代表者名 代表取締役社長兼 CEO 竹内 在

(コード:7318 グロース市場)

問合せ先 取締役 CFO 北村 隆史

(TEL. 052-222-5306)

2026年3月期第2四半期決算説明会補足当日回答が出来なかった質問と回答

セレンディップ・ホールディングス株式会社(本社:愛知県名古屋市中区、代表取締役社長兼CEO 竹内 在 以下、当社)は、2025年11月18日に2026年3月期第2四半期決算説明会を開催いたしました。当日は非常に多くのご質問を賜り、誠にありがとうございました。

今回の決算説明会におきまして時間の都合上、回答ができなかったご質問について、株主・投資家の皆様への情報提供の充実およびフェア・ディスクロージャーの観点から、要約した質問内容と併せて、以下のとおり回答を公開いたします。

なお、回答内容は開示時点の当社方針・想定に基づくものであり、時点の違いにより実際と異なる場合がございます。予めご了承くださいますようお願い申し上げます。

Q1: 現時点における 2027 年3月期業績見込みについて

※開示済の情報を単純合算したもので、2027年3月期の通期連結業績予想するものではありません。

(前提) 当期に M&A をしたサーテックカリヤの業績をフルイヤーで反映させ、サーテックカリヤ以外は、2026 年3月期の業績予想値(通期分)を単純合算した場合

| | サーテック以外 ① | サーテック ② | 連結 (①+②) |
|------------|----------------------|-----------------|----------|
| | (26 年 3 月期オーガニックベースの | (26年3月期の下半期分×2) | |
| | 予測値) | | |
| 売上高 (百万円) | 40,000 | 21,000 | 61,000 |
| 営業利益 (百万円) | 1,950 | 1,200 | 3,150 |

数値を確約するものではないため、上記を決算説明会においては、売上高 60,000 百万円超、営業利益 2,500 百万円超と話しております。

セレンディップ・チャレンジ500達成に向けて大きく前進

- 売上高は、中期経営計画を前倒しで達成見込み
- ・ 営業利益はQ2に一過性の新規M&A(サーテックカリヤ)関連費用を計上するも、当初計画を大幅に上回る見込み



※2026年3月期第2四半期決算説明会資料P14参照

Q2: メザニンの場合、自己資本比率は下がりますか?

当社が資金調達の一環として活用しているメザニンは、借入金(負債)に計上しておりません。したがってメザニンは、自己資本比率が低下する要因にはなりません。

Q3:パナソニック コネクト ロボット制御プラットフォーム セールスパートナープログラムへの参加でセレンディップ・ロボクロスの成長はどのようになるのですか?

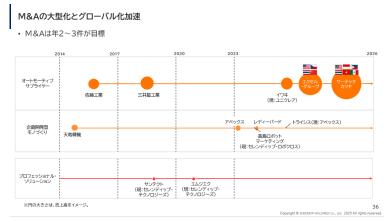
本プログラムの参加で「マルチベンダー化」を進めます。

現在は開発案件ではテックマン 1 社ですが、他に問い合わせが多い他メーカーでも提案、開発ができるようになるため、今まで対応できなかった引合対応が可能となり、受注機会が増加すると考えています。

これにより取り扱いロボットメーカーは主要メーカー3 社加えて合計 4 社を考えています。

Q4:今後会社の売り上げや時価総額が大きくなってくる中で、今後のM&A対象の会社もやはり大きくなるという認識で良いでしょうか。

当社の売上や時価総額が大きくなる中で、M&A の対象となる企業の規模や質も徐々に向上していくと考えています。 実際、エクセル・グループの M&A を契機に、紹介される案件の規模や質も向上しており、今後も同様の傾向が続くと考えています。



※2026年3月期第2四半期決算説明会資料P36参照

Q5:派遣事業を展開している理由を教えてください。またどのような人材をどのような企業へ派遣しているのか、グループ会社へ派遣するのか、あるいは自動車メーカーの設計部門など外部企業へ派遣しているのか教えてください。

当社は、投資の方針として添付資料の通り 7:2:1 の比率で M&A を実行しています。その中で、派遣事業も担っているプロフェッショナルソリューション事業は、当社のセレンディップ投資ポートフォリオ(SIP)において、約 10%を構成する事業であり、モノづくり事業のプラットフォーム機能を拡充する役割(グループ横串機能)を担っています。

当社からは「プロ経営者」を、セレンディップ・テクノロジーズから「システムエンジニア」をグループ内外へ派遣しており、 当社グループでの知見を社外へのサービス展開や、社外での経験を当社プラットフォームの拡充と相互に活かせる状況 としております。

M&A基本方針 | セレンディップ投資ポートフォリオ(SIP)

- ・ 安定的な収益獲得分野と、変動性は高いが成長率・利益率の高い分野へ、SIPに従って継続して投資実行
- ・成長のためのR&D・設備投資を織り込んだ適切なパリュエーションに基づく投資判断によりM&Aを実行



31

※2026年3月期第2四半期決算説明会資料P31参照

以上